

TS-STX510 TS-STX510-B

INPUT **100 W MAX.**

カーステレオ用スピーカー
φ57 mm コーン型サテライトスピーカー




取扱説明書

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。


お車への取付けは、必ずこの取扱説明書と別刷りの「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。


また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。


●ご注意とお願い


別刷の「安全上のご注意」を必ずよくお読みください。
絵表示（, , , など）の意味については、別刷の「安全上のご注意」をご参照ください。

⚠ 注意

 本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

 本体が乗員やシートのヘッドレストなどに常時干渉する位置には取付けしないでください。ケガや破損の原因となります。

 エアバッグが装着されている場所には取付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、ケガの原因となることがあります。

 取付時および取付後に本体を強く引っばる、ぶら下がるなど荷重をかけないでください。ネジや金具、本体などの破損によりケガの原因となることがあります。同様に、配線を強く引っばる、ぶら下がるなど、荷重をかけないでください。本体の破損やコードの断線などの恐れがあります。

荷物の出し入れ時や走行中、荷物などが当たってキズがついたり、破損したりする恐れがありますので、ご注意ください。

荷物の出し入れ時など、頭をぶつける恐れがありますので頭上には充分ご注意ください。

・本製品を車両内張りに取付ける場合は、取付前に現車にて内張りの強度を十分にご確認ください。本製品を取付けることによって、内張りの外れや破損などの発生の恐れがある場合は取付けしないでください。








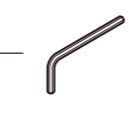


・カーテンエアバッグなどを装着していないことを確認後、取付けしてください。

●仕様

- ・再生方式.....密閉型フルレンジ
- ・スピーカー仕様.....口径φ57 mm
IMCC
ウレタンエッジ
特殊耐熱ボイスコイル
フェライトマグネット：79 g
- ・インピーダンス.....4 Ω
- ・出力音圧レベル.....82 dB
- ・再生周波数帯域.....100 Hz～30 000 Hz
- ・瞬間最大入力.....100 W
- ・定格入力.....20 W
- ・サイズ.....74 mm×95 mm×105 mm
- ・質量（付属品を含む1個）.....0.60 kg
- ・総質量（梱包材を含む2個）.....1.35 kg

上記の仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

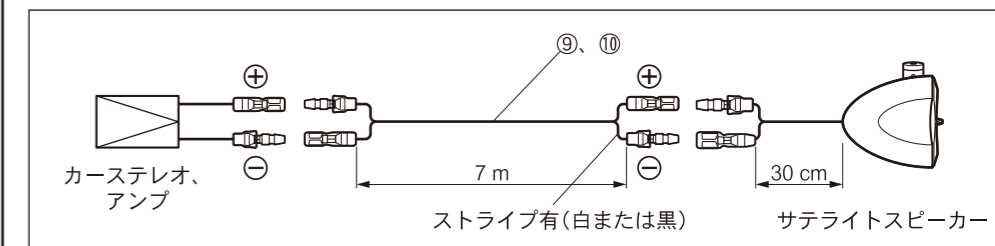
●付属品

- ①金具..... ×2
- ②金具..... ×2
- ③金具..... ×2
- ④六角穴付ネジ (M6 mm×14 mm)..... ×4
- ⑤座金付ネジ (M5 mm×8 mm)..... ×2
- ⑥座金付ネジ (M6 mm×16 mm)..... ×2
- ⑦六角レンチ(大)..... ×1
- ⑧六角レンチ(小)..... ×1
- ⑨コード(白ストライプ)..... ×1
透明/白ストライプ
- ⑩コード(黒ストライプ)..... ×1
透明/黒ストライプ

●準備する工具類

コードを接続する際、内張りなどを分解する必要がある場合は、ドライバー、内張りはがしなどをご用意ください。

●接続方法（接続図）



●配線のご注意とお願い



市販スピーカーを装着する場合、純正スピーカー(純正トゥイーター)に並列接続で追加する事は合成インピーダンスの低下を招き、アンプやメインユニットの使用推奨範囲を下回る可能性があります。その場合、アンプやメインユニットの発熱・発煙・発火などの恐れがありますので、組み合わせるスピーカーの合成インピーダンスがアンプやメインユニットの使用推奨範囲内であることを確認していただくか、並列接続とならないよう純正スピーカー(純正トゥイーター)の配線を外すか、配線をひき直すなどの処置をしていただく必要があります。

本機への配線は、必ず付属のコードを使用してください。また、イグニッション、車載コンピューター、ハーネスなど、ノイズを多く発生するものと近付けないように配線し、ご使用ください。ノイズがスピーカーより再生されてしまうことがあります。

スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線しますと低音感の乏しい音になります。


接続する際、お手持ちのカーステレオの取扱説明書も参照してください。


●取付方法(ご注意)

別刷の「安全上のご注意」を必ずよくお読みください。

取付不備を含め、指定の部品を用いない取付け、取扱説明書以外の方法での取付けなどによって起きた事故に対して、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。

⚠ 警告

 取付けには必ず適合する工具を使用してください。適合しない工具あるいは変形した工具を使用するとしっかり固定できず、外れたりして危険です。

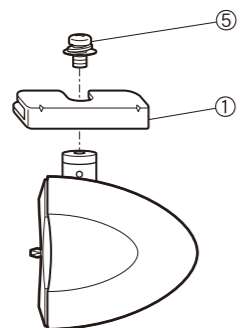
 お車への乗降りの支障のある場所に取付けしないでください。ケガや破損の原因となります。

取付手順は、裏面をご覧ください。

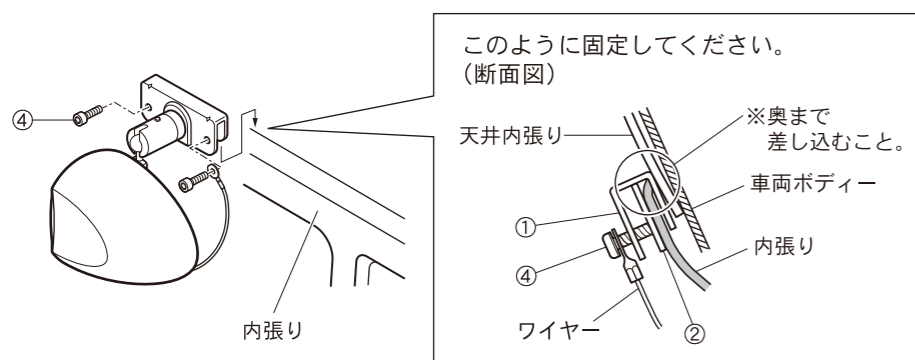
●取付方法

A.内張りへの取付け

1. 金具①を、製品本体の金具にネジ⑤を使用し固定します。



2. 車両の内張りをマイナスドライバーなどで軽く広げ、金具①を差し込みます。
 3. 内張り保護用金具②を内張り①と金具①との間に差し込み、ネジ④にて固定します。その際、サテライトスピーカーから出ているワイヤー先端の穴にネジ④を通してください。ネジ④の締めつけには六角レンチ⑦を使用してください。
 ・内張りへ取付ける場合は、車種によって内張りにガタツキのあるものがあります。その場合は、ガタツキのない場所を選んで取付けてください。

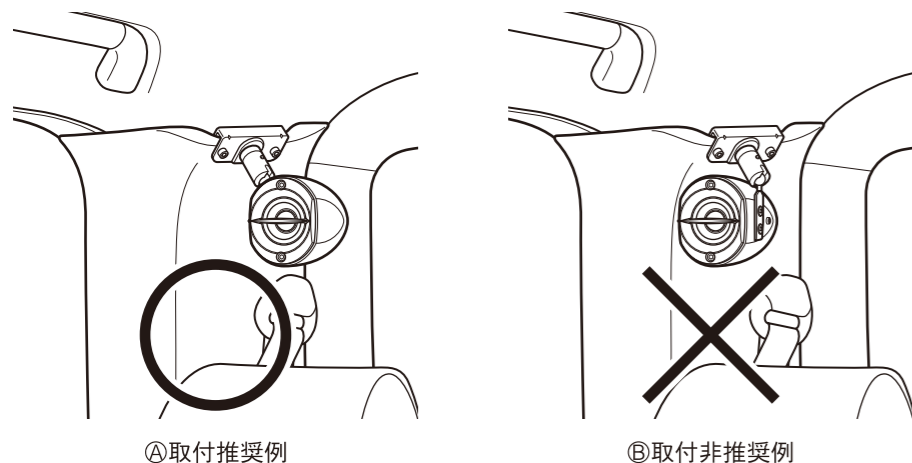


- ❗ 本体に付いている安全ワイヤーを必ず使用してください。使用しない場合、万一落下した際、事故やケガの原因となります。
- ❗ 使用中に、ネジのゆるみや金具の取付けにガタツキがないか、ときどき点検を行ってください。ゆるみやガタツキがある状態のまま走行しますと、本体が外れて落下し、事故やケガの原因となることがあります。

〈取付時のご注意〉

内張りへの取付けは図④のように製品が内側(金具が外向き)になることを前提としております。

❗ 図⑤のような金具、ネジ、ワイヤーが乗員側になる取付けは行なわないでください。ケガの原因となることがあります。

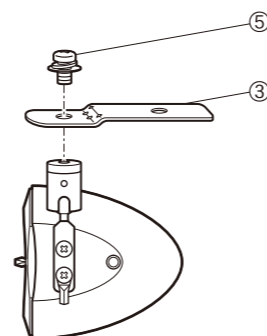


④取付推奨例

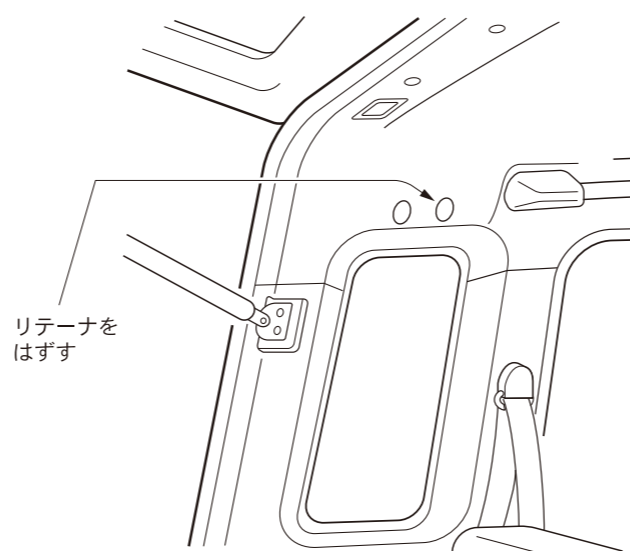
⑤取付非推奨例

B.ネジ止めが可能な車両への取付け

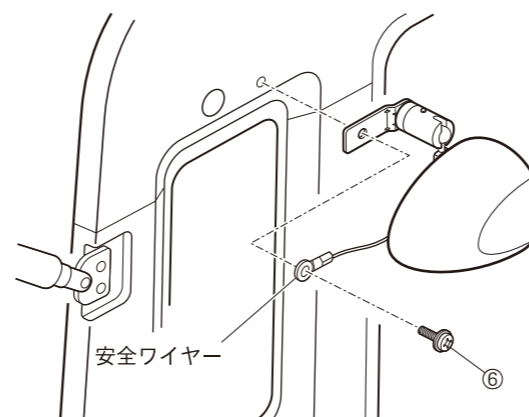
1. 金具③を、製品本体の金具にネジ⑤を使用し固定します。



2. 車両室内の上方にあるリテーナをプライヤーなどを使用して抜きとります。



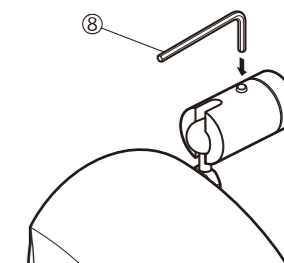
3. ネジ⑥を使用し、製品を車両に固定します。その際、製品から出ている安全ワイヤー先端の穴にネジ⑥を通し共締めします。



- ❗ 本体に付いている安全ワイヤーを必ず使用してください。使用しない場合、万一落下した際、事故やケガの原因となります。
- ❗ 使用中に、ネジのゆるみや金具の取付けにガタツキがないか、ときどき点検を行ってください。ゆるみやガタツキがある状態のまま走行しますと、本体が外れて落下し、事故やケガの原因となることがあります。

●角度調節

本品は取付後でも角度の調節を容易に行なうことができます。角度調節には付属の六角レンチ⑧を使用します。

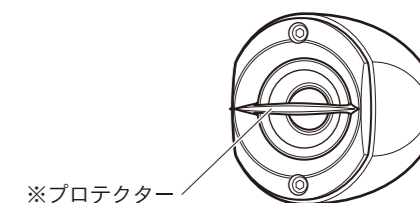


別刷の「安全上のご注意」を必ずよくお読みください。

- ⚠ 角度を調節する場合は、必ず付属の六角レンチ⑧で金具のネジをゆるめてから行ってください。ゆるめないまま力に力を加えようとすると金具が折れてケガをするなどの危険性があります。
- ❗ 角度調節後、ネジがゆるんだ状態のまま走行しますと、スピーカーがはずれて落下するなど、大変危険ですので、必ずネジをしっかりと締めつけた状態で走行してください。

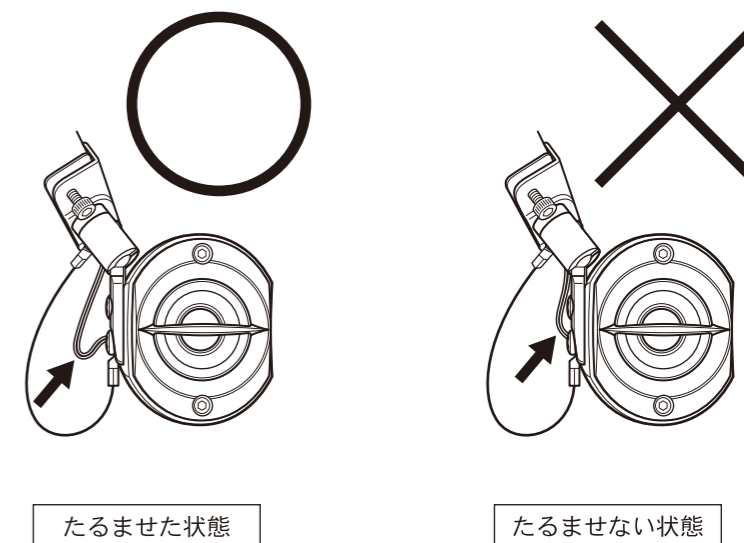
角度調整のネジを締めつけたままでスピーカーの角度を調整しないでください。ジョイント部の塗装が剥がれる場合があります。

スピーカーのプロテクター内に指などを入れたり振動板に触れることは、絶対にしないでください。故障の原因となることがあります。
 (※プロテクター・図示)



●コード配線処理について

スピーカーからのコードを配線する際には、必ずコードをたるませた状態にしてください。コードをたるませない状態で取付けた場合、コードの断線などの恐れがあります。



●故障かな?と思ったら

ちょっとした操作のミスや配線違いなどで故障と間違えることがあります。修理をご依頼される前に、スピーカーのコードが外れていたり断線していないかどうか、スピーカーコードの極性(+)、(-)が合っているかどうかのチェックをしてください。